

# 坂東地域アグリ通信

平成27年4月20日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

## JA茨城むつみ境地区野菜生産部会 青年部がレタスのPR活動を行いました！



3月24日（火）、JA茨城むつみ境地区野菜生産部会青年部が横浜市内においてレタスの消費宣伝を行いました。

今年は試食品として、レタスのシャキシャキ感を生かした「せん切りレタスと蒸し鶏のサラダ」を提供し、好評を得ました。

また、今回の宣伝活動では「レタスに関する消費者意識アンケート」も行いました。消費者のレタスを選ぶ基準や、食べ方、購入頻度などを調査し、さらなる消費拡大に向けた課題の発見につながりました。

## ニガウリの高品質生産にむけて栽培講習会開催

4月6日（月）、JA茨城むつみ三和地区営農センターにおいて、生産者20名を対象に病害虫防除を中心としたニガウリ栽培講習会が開催されました。

ニガウリの出荷は6月から11月までと長期にわたるため、病害虫防除が大変重要で、生産者は熱心に聞き入っていました。

これからも良品生産を心がけ、おいしいニガウリ生産に取り組んでいきます。



## カリフラワーの目揃会を開催

4月13日（月）、JA茨城むつみ境地区野菜生産部会では、JA茨城むつみ本店において、境地区カリフラワー目揃会を開催しました。

境地区のカリフラワーは市場評価が高く、好評を得ています。今年度は降雨や曇天が続き品質の低下が心配されましたが、品質を大きく落とすこともなく、真っ白で高品質なカリフラワーが出荷されています。

目揃会では、指定市場から花蕾の白さや緻密さを大切にして欲しいと生産者に伝えられました。境地区のカリフラワーは、これから5月末まで出荷されます。



# 農業には若さがある！

このコーナーでは、若手農家を訪問して、農業への思いなどをインタビューしています。今月は古河市水海の芝佳冬さんと、奥様の恵美さんをご紹介します。芝さんは就農3年目でご家族と一緒に玉レタスやキャベツなどを栽培しています。

## 「どうして就農しようと思ったのですか？」

以前は商社で働いていましたが、毎年のように転勤があり、家族との時間を取りたいという思いがありました。そして子供が生まれることを機に、妻の実家の農作業を手伝っていたこともあり、商社を辞めて就農しました。

## 「就農してからの心持ちはどうですか？」

佳冬さん→ 農作業は特に天気予報に左右されることを実感し、今までは気にしなかった“風”にも敏感になりました。

恵美さん→ 小さい頃から農作業を手伝っていましたが、家庭を持つようになってからさらに頑張ろうと思っています。

## 「今頑張っていることや心がけていることはありますか？」

多くの消費者の方に手にとって頂けるように、出荷するときの選別や包装の仕方などに気を配っています。また、それぞれの品種の特性や病気に関してさらに勉強しなければと思っています。

## 「農業の楽しいこと、つらいことは何ですか？」

楽しいこと→ 私たちが育てた野菜が売れたり、美味しかったと言ってもらえたり、直売所などで実際にお客様と交流する 때가楽しいです。

つらいこと→ 連作などで病気が発生したり、悪天候で農作業が滞ることがつらいです。

## 「これからの目標は何ですか？」

就農してからまだ日が浅いので、あぐり一揆や近所の方々と交流し、勉強し、私たちに合った農業のスタイルを楽しみながら確立していきたいです。

## 「最後に一言お願いします！」

皆さんに美味しいと言ってもらえるような野菜をこれからも作っていきますのでよろしくお願いします！



～玄関前の鯉のぼりと～

## 坂東地域農業改良普及センター 平成27年度 メンバー紹介

### <センター長> 吉崎 幸一

#### 経営課

経営課長 新井 博(野菜)  
 専門員 大川 広子(経営・流通)  
 係長 古瀬 早苗(庶務)  
 主任 嶋川 真理子(アグリビジネス)  
 技師 大槻 和弘(作物)  
 技師 岡嶋 亮介☆  
 臨職 山川 理恵

#### 地域普及第一課(坂東市・境町)

第一課長 上原 勝夫(野菜)  
 専門員 瀧澤 利恵(野菜)  
 主任 青木 一美(野菜)☆  
 主任 俵 貞治(作物)  
 技師 古矢 桃子(野菜)  
 技師 三村 洋一(野菜)

#### 地域普及第二課(古河市・五霞町)

第二課長 鈴木 結花(野菜)  
 専門員 小笠原 好教(畜産)  
 専門員 伊藤 常雄(作物)  
 技師 棚谷 智寿(経営・流通)  
 技師 遠藤 雄大☆

(☆は新しく赴任した職員)

## 編集 後記

今月から新年度になり、坂東普及センターも新体制になりました。今年からは遠藤と岡嶋がアグリ通信の発行を担当します。『皆さんにわかりやすく！』を心がけて頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

